

来年はきっと平穏な年に！

大震災 台風 水害 波乱の年暮れる

大変な1年でした。自然災害だけでなく、政治の迷走で人災まで引き起こし、暮らしも先行き不安ばかり広がりました。新年に向け「幸多い」ことを強く願いたいが、消費税を柱にした増税、年金や医療費、介護制度の後退など、年末年始の話題も厳しいことばかりです。

しかし、考えてみると、こんな時代だからこそ「地域の絆」「地域での思いやりや支え合い」がより大事になります。自治会活動は今年も活気を持続しました。新年もみんなで力を合わせ「住みよい港川」を目指し頑張らしましょう。（自治会長）

公民館もきれいになりました

館内外を大掃除 ごくろうさまでした！



1年間の利用で館内の棚も雑然とっていました。棚の本なども引っぱり出してきれいに整理。外側も男性陣が頑張りました。写真（24日）

「里浜海浜公園」計画進む

3月までに基本計画

カーミッジー後方埋立地の公園化計画に当たっては、ほぼ全ての面で自治会の「里浜活動」実績が検討の基礎となっています。公園は自然の海の保全と活用のための拠点とし

て整備する方向性は一致しています。学習や海浜利用者のための施設的な配置、規模、護岸形状などについてはワーキング作業を継続中。出来ただけ施設的な物は必要最小限にと、というものはほぼ全体的な共通認識。西側海岸は可能な限りゆるやかな自然の浜が再現できないか！今後も検

Minatogawa
みなとがわ

発行 港川自治会 〒401-1214 清水市港川三二五番地

879・6292（総機） 090・3334・4955（携帯）

港川自治会だより

会員登録

11年12月
第167号



クリーン作業には小学生も多数参加しました（写真＝上）。小学生も餅つきに挑戦（写真＝右）

つきたてはおいしいネ
～ 年末「CGG活動」～
恒例の餅つきで交流



討を続けることになっています。沖食用地は特に地域との関係で「街区公園」や住民も活用できる「複合施設」を提起し、全体的には将来のシンカー緑地までを視野にした県内初の特徴ある公園を目指しています。

ゆづりどき ときどき閑話

ちよっと残念・10月に国道交通大臣表彰の「手づくり郷土（ふるさと）賞」に応募したことを報告しましたが、このほど沖縄総合事務局の担当者から連絡があり、選に漏れたとのことでした。とはいえ、一自治会の取り組みが応募対象として行政の推薦を受けたことは、県内でもきわめて異例ことで、それ自体は画期的な出来事。港川の活動、とりわけ「里浜活動」が高い評価を受け、新しい時代の「まちづくり」のあり方として共感を広げていると言えます。

港川地域には今もこれからも課題は沢山あります。その課題に立ち向かっていくには、何よりも自分たちの地域に愛着と誇り、自信を持つことが大事です。その意味では今回の郷土賞推薦を通じた外部からの活動評価を、私たちも素直に評価し、次回の機会につなげたいと思います。これからの地域の発展に向け、各世代が力を合わせ頑張っていきましょう。

高まりを感じます。上港川緑地公園で行われたクリーン作業・餅つきには港川小学校の崎濱校長、中学校からはハンドボール部員20人余と先生も参加、一緒に清掃作業に汗を流し、餅つきを楽しんでいました。

【年末年始の公民館】29日から正月3日まで閉館します。

【介護施設くるる 年始会】3日午後2時から。自治会からも三線・踊りで「かぎやで風」などを披露し交流します。